

R4年度 事業名	母親クラブ活動費補助事業
R3年度 事業名	母親クラブ活動費補助事業

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	児童センターなどを拠点として活動している児童を育てている親を主として組織されている母親クラブを支援し、児童が心身ともに健やかに育つよう、地域の児童福祉の向上を図る。				
	概要	地域の保護者の教養を高め、児童が心身ともに健やかに育つように、会員同士が親睦を深めたり地域の児童福祉の向上を目的とした母親クラブの事業に対し、補助金を交付して支援する。				
	コロナ対応 の取組	(R3年度) 感染症拡大防止対策を行ったうえで事業を実施した。 (R4年度) 感染症拡大防止対策を行ったうえで事業を実施する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	母親クラブが実施する地域の児童福祉の向上を目的とした事業に対して、補助金を交付する。		
現在	補助金等交付					

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
補助母親クラブ数		団体	目標値	18	18	13	13	13
			実績値	18	7	9		
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
母親クラブの延べ実施事業数		数	目標値	150	65	26	26	26
			実績値	98	15	22		
計算 根拠			達成率	65.3	23.1	84.6		
			実数値					
			ランク	C	C	B		
前年度 ランク B、Cの 理由	コロナウイルスの影響により活動を休止せざるを得なかったため。							

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,080	1,080	540	900	850		事業タイプ	単独事業
	決算額	1,080	1,080	192	417			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	9	601	母親クラブ活動費補助金	850	850	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	850

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ 維持
取組内容	母親クラブが実施する地域の児童福祉の向上に向けた事業に対し、市単独補助金を交付する。子どもの人数が減少している地区も多く、母親クラブの活動回数が少なくなっているのが現状である。
来年度へ向けて	R3年度実績 令和3年度補助した母親クラブ数は13団体(実際は17団体あって、活動できず補助しなかったのが4団体)、延べ実施事業数は目標26回に対して22回だった。 R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 コロナ禍の影響もあり、母親クラブの活動数が減少しているほか、母親クラブの活動を中止、停止する団体も出てきている。今後、クラブ会員の意見を聞きながら、事業内容を検討していく必要がある。 実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 母親クラブに加えて子育てグループに対しても、活動に応じて事業の一部を補助するよう変更を行う。また、補助率や補助額についても会員数に応じて補助額を算定するよう改める。 R5方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し) CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): 0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	出会い交流サポート事業			
R3年度 事業名	出会い交流サポート事業			
総合戦略 体系	311	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出会い交流等のサポート

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	未婚の男女が交流できる場を提供することにより、晩婚化の進行を抑制し、未婚率の低減を図る。				
	概要	令和2年度より、県、県内市町で運営するふくい結婚応援協議会に加入 令和4年度より「ふくい婚活サポートセンターマッチングシステム」登録者負担金の助成を導入し、婚活支援を推進する。 婦人福祉協議会に委託し、結婚相談業務を実施している。 平成24年度から、提案型市民役事業で未婚の男女が交流できるイベントの開催を、公募により柔軟なノウハウを持つ市内の団体に委託していた。平成27年度から令和3年度まで県外の若者たちに新たな出会いとなる場とモノづくりを通して結婚を望む人との支援を実施した。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 事業を実施しない。 (R3年度) オンラインでイベントを開催するなど、3密を避けたイベントを実施した。 (R4年度) ふくい婚活サポートセンターマッチングシステム登録料助成推進。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	未婚の男女が交流できるイベント等の開催を、提案型市民役事業として市内の団体に委託する。		
現在	民間等委託(全部)					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	イベント等の開催回数		回	目標値	4	4	3		
				実績値	6	-	3		
	登録料助成について情報発信回数		回	目標値				3	3
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	イベント等の延べ参加者数		人	目標値	120	120	60		
				実績値	76	-	48		
計算 根拠			達成率	63.3	-	80			
			実数値						
ふくい結婚応援協議会登録者数		人	目標値				70	70	
			実績値						
計算 根拠			達成率						
			実数値						
				ランク	C	-	B		
前年度 ランク B、Cの 理由	感染症対策を講じ、人数制限しイベントを開催したことによる								

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,100	1,100	200	830	680		事業タイ	単独事業
	決算額	1,100	1,100	100	830			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	9	202	出会い交流サポート事業費	680	680
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	680

補助金等	No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	10
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="事務改善"/>
取組内容	婚活を始める人のきっかけづくり支援として、「ふくい婚活サポートセンターマッチングシステム」登録者負担金の助成をする。結婚を希望する人に対して、結婚相談員が結婚に関する情報提供、相談、紹介業務等を婦人福祉協議会に委託する。
来年度の実績	R3年度 新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、イベントを2回開催した。オンラインでの意見交換を1回実施した。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	R3年度は、オンラインでイベントを開催するなど、ITを活用し、3密を避けながらも未婚の男女が交流できるイベントを実施した。R4年度は登録料助成を推進する。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	結婚を希望する人に対して、結婚相談員が結婚に関する情報提供、相談、紹介業務等を婦人福祉協議会に委託する。ふくい結婚応援協議会が主催する「ふくい婚活サポートセンターマッチングシステム」との連携を図る(紹介、情報など)。
R5方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	不可能	可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	実施	未実施	未実施

R4年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	母子家庭等児童生徒激励事業
R3年度 事業名	母子家庭等児童生徒激励事業

総合戦略 体系	312	若くて元気まの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	-----------	---------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	ひとり親家庭の子どもが小・中学校に入学および中学校を卒業するときに、祝う会を開催し励ますことで、心も体も健やかな子どもを育む。				
	概要	ひとり親家庭の子どもが小・中学校入学、中学校卒業を祝う会を開催し、祝い品を贈呈する。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)「ひとり親家庭の子どもが小・中学校入学および中学卒業を祝う会」については中止。また、祝い品については、昨年同様100%贈呈を目指す。 (R3年度) 祝い品については、受取期間を設け昨年同様100%贈呈を目指した。 (R4年度)「ひとり親家庭の子どもが小・中学校入学および中学卒業を祝う会」の開催有無については、今後の状況を見て判断する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	ひとり親家庭の子どもが小・中学校入学、中学校卒業を祝う会を開催し、祝い品(商品券)を贈呈する。		
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	お祝いする回数		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	祝品の贈呈率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
	計算 根拠	贈呈者数/贈呈該当者数		達成率	100	100	100		
				実数値	170/170	190/190	147/147		
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,330	1,540	1,540	1,330	1,260		事業タイプ	単独事業
	決算額	1,190	1,190	1,330	1,029			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	2	203	母子家庭等児童生徒激励費	1,260	1,260	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,260

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.03
	会計年度職員	0.02
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
9	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容
ひとり親家庭の子どもの小・中学校入学、中学校卒業を祝う会を開催し、祝い品(7,000円の商品券)を贈呈する。

来年度の実績
令和3年度 祝い品は該当者147名に対し、商品券7,000円を贈呈した。

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題
新型コロナの影響により、令和3年度の「ひとり親家庭の子どもの小・中学校入学および中学卒業を祝う会」については、コロナ禍が続いているため中止。R4年度の「ひとり親家庭の子どもの小・中学校入学および中学卒業を祝う会」開催可否は未定。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点
特になし

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	福祉手当支給事業
R3年度 事業名	福祉手当支給事業

総合戦略 体系	312	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	-------------	---------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	経済的に困っているひとり親家庭等の保護者に手当を支給することにより、経済的自立と生活意欲の向上を図る。				
	概要	ひとり親家庭等で生活の状態が困窮していると認められる世帯に対し、その世帯で児童(18歳到達年度末)を養育する人に手当を支給する。(所得制限有り)(児童一人につき月額5,000円、世帯の限度額は、月額20,000円)				
	コロナ対応 の取組	特になし。				
	法令等 根拠 現在	鯖江市福祉手当支給条例 市直営	実施 形態	内容	ひとり親家庭等で生活が困窮していると認められる世帯に対し、手当を支給する。	

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
制度の周知活動		回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
支給率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
計算 根拠	支給決定数/支給要件適合者申請数×100		達成率	100	100	100		
			実数値	14/14	21/21	16/16		
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,800	1,000	1,000	900	800		事業タイプ	単独事業
	決算額	785	610	765	655			経費区分	扶助費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	2	302	福祉手当費	800	800	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	800

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計 点数	10
点数区分	0点~8点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善
有効性	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	ひとり親家庭等で生活の状態が困難していると認められる世帯に対し、その世帯で児童(18歳到達年度末)を養育する人に手当を支給する。(所得制限有り)(児童一人につき月額5,000円、世帯の限度額は、月額20,000円)
来年度の実績	令和3年度において、福祉手当支給事業周知活動は3回実施した。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	市のホームページや広報紙で、福祉手当支給事業についてPRをした。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今後増加が見込まれるため、本手当を必要としている人に伝わりやすい紙面づくりを心掛ける。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	特になし。
R5方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	鯖江市母子寡婦福祉連合会運営補助事業
R3年度 事業名	鯖江市母子寡婦福祉連合会運営補助事業

総合戦略 体系	312	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	-------------	---------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	鯖江市母子寡婦福祉連合会の活動を支援し、会員である母子家庭の自立向上を図る。				
	概要	鯖江市母子寡婦福祉連合会の運営費および事業費の一部を補助する。				
	コロナ対応 の取組	会員限定とするなどの感染拡大防止対策を徹底した上で「ひとり親家庭ふれあいのつどい」等を開催する。研修会は感染防止対策を徹底し実施する。				
	法令等 根拠 現在	補助金等交付	実施 形態	内容	鯖江市母子寡婦福祉連合会の活動の運営費に補助を行う。	

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
研修会開催数		回	目標値	7	4	4	4	4
			実績値	7	4	4		
計算 根拠	研修会開催数/目標値		達成率	100	100	100		
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	585	730	730	657	600		事業タイプ	単独事業
	決算額	585	730	730	657			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	2	601	母子福祉団体等補助金	640	600	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	600

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.03
	会計年度職員	0.02
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	鯖江市母子寡婦福祉連合会の運営費の一部を補助する。
来年度へ向けて	R3年度の実績 令和3年度の研修会開催数は、目標4回に対して4回実施した。 R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 令和3年度理事会、総会、ひとり親家庭ふれあいのつどいは、新型コロナウイルスの影響のため、会員限定で実施した。その他の会員活動も感染拡大防止対策を徹底したうえで事業を継続した。 令和4年度も引き続き、感染症対策を実施しながら活動内容を検討する。 実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 近隣市町の団体を参考に、補助額の妥当性について協議が必要。 R5方向性⇒ <input type="text" value="事務改善(手段・サービス水準の見直し)"/> CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	自立支援教育訓練給付事業
R3年度 事業名	自立支援教育訓練給付事業

総合戦略 体系	312	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	-------------	---------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	ひとり親家庭の母および父が就業するために受講した資格取得等講座の受講料の一部を補助することにより、経済的自立を促進する。					
	概要	ひとり親家庭の母および父の自立を支援するために、職業相談を通じて指定された職業能力開発のための講座を受講するものに対して職業訓練終了後、受講料の一部を支給する。					
	コロナ対応 の取組	特になし					
	法令等 根拠 現在	母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金交付要綱(厚生労働省)、鯖江市自立支援教育訓練給付金交付要綱	実施 形態	内容	ひとり親家庭の母が就業するために受講した資格取得等講座の受講料の一部を補助する		

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	ひとり親家庭制度新規申請者への制度周知活動回数		回	目標値			3	3	3
				実績値			3		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	給付事業支援率		%	目標値			100	100	100
				実績値			100		
	計算 根拠			達成率			100		
				実数値			1/1		
		ランク				A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	72	90	150	150	108		事業タイプ	補助(国)事業
	決算額	70	80	90	15			経費区分	扶助費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	2	304	母子家庭等自立支援事業費	2,646	108	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	108

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	母子家庭等自立支援補助金	81
2		
3		
4		
5以降		
合計		81

事業要員	正規職員	0.01
	会計年度職員	0.01
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している 業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している 市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない 成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない									
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ										
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み										
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある										
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>合計点数</th> <th>点数区分</th> <th>次年度方向性の目安</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">10</td> <td>0点~8点</td> <td>事務改善または廃止・休止</td> <td rowspan="2">維持または事務改善</td> </tr> <tr> <td>9点~16点</td> <td>維持または事務改善</td> </tr> </tbody> </table>	合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定	10	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善	9点~16点	維持または事務改善
合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定							
10	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善							
	9点~16点	維持または事務改善								

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	ひとり親家庭の母および父の自立を支援するために、職業相談を通じて指定された職業能力開発のための講座を受講するものに対して職業訓練終了後、受講料の一部を支給する。
来年度の実績	令和3年度 自立支援教育訓練 実績1件
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	コロナ禍が続く中、ひとり親世帯の負担を解消するために就労支援は重要であるため、積極的な周知が必要。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	支援が必要なひとり親世帯が利用できるよう、児童扶養手当現況届手続き時や他の窓口手続き時に制度の周知を行う。
R5方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	高等職業訓練促進事業
R3年度 事業名	高等職業訓練促進事業

総合戦略 体系	312	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	-------------	---------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	ひとり親家庭の母および父が就業するために、専門的な資格取得のため修業中の生活費を支給することにより、資格取得と経済的自立を促進する。					
	概要	ひとり親家庭の母および父が資格受講中に、生活の安定を図り、資格取得を容易にするため、高等職業訓練促進費を支給するとともに、終了後に入学支援修了一時金を支給する。					
	コロナ対応 の取組	特になし					
	法令等 根拠 現在	母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金交付要綱、鯖江市高等技能訓練促進費等交付要綱	実施 形態	内容	母子家庭の母が資格受講中に、生活の安定を図り、資格取得を容易にするため、高等職業訓練促進費を支給するとともに、終了後に入学支援修了一時金を支給する。		

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	ひとり親家庭制度新規申請者への制度周知活動回数		回	目標値			3	3	3
				実績値			3		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	給付事業支援率		%	目標値			100	100	100
				実績値			100		
	計算 根拠			達成率			100		
				実数値			1/1		
			ランク			A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,928	1,910	1,850	1,650	2,538		事業タイプ	補助(国)事業
	決算額	1,250	0	0	846			経費区分	扶助費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	2	304	母子家庭等自立支援事業費	2,646	2,538	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,538

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	母子家庭等自立支援補助金	1,904
2		
3		
4		
5以降		
合計		1,904

事業要員	正規職員	0.03
	会計年度職員	0.02
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している 業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している 市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない 成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない									
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ										
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み										
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある										
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>合計点数</th> <th>点数区分</th> <th>次年度方向性の目安</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">12</td> <td>0点~8点</td> <td>事務改善または廃止・休止</td> <td rowspan="2">維持または事務改善</td> </tr> <tr> <td>9点~16点</td> <td>維持または事務改善</td> </tr> </tbody> </table>	合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定	12	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善	9点~16点	維持または事務改善
合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定							
12	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善							
	9点~16点	維持または事務改善								

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	ひとり親家庭の母および父が就業するために、専門的な資格取得のため修業中の生活費の負担を軽減するため訓練促進費を支給する。
来年度の実績	R3年度 高等職業訓練給付金 1件 846千円
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	コロナ禍が続く中、ひとり親世帯の負担を解消するために、資格取得と経済的自立の促進は重要であるため、積極的な周知が必要。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	支援が必要なひとり親世帯が利用できるよう、児童扶養手当現況届手続き時や他の窓口手続き時に制度の周知を行う。
R5方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	すみずみサポート事業
R3年度 事業名	すみずみサポート事業

総合戦略 体系	312	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	-------------	---------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課		開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	小学校就学前および小学校3年生までの児童を対象に一時保育、子育て家庭における生活支援(家事代行サービス)を通して、子育て家庭の経済的・精神的負担の軽減を図る。					
	概要	就職活動、疾病、事故、冠婚葬祭、学校等の公的行事への参加など、社会的にやむを得ない事由により、家庭で一時的に保育を行うことができない場合の子育て家庭の支援として、一時保育、家事代行サービスを民間事業者等に委託する。					
	コロナ対応 の取組	感染拡大防止対策を徹底したうえで事業を実施する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	一時保育、家事代行サービスを民間事業者等に委託し、子育て家庭の支援を行う。		
現在	民間等委託(全部)						

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
制度の周知活動		回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
支援率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
計算 根拠	利用者数/利用申込者数	達成率	100	100	100			
		実数値	4808/4808	4034/4034	4369/4369			
		ランク		A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	14,000	11,500	11,800	11,800	13,480		事業タイプ	補助(県)事業
	決算額	10,894	10,997	8,435	8,091			経費区分	扶助費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	9	303	すみずみサポート事業費	13,480	13,480	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	13,480

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	すみずみ子育てサポート事業費補助金	6,740
2		
3		
4		
5以降		
合計		6,740

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	10
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R4方向性⇒	維持
取組内容	一時預かり、家事代行サービスを民間事業者等に委託し、子育て家庭の支援を行う。(ホームページ、子育て支援ハンドブックやチラシで周知) 今後は、委託業者を増やし、より利用しやすい体制づくりに努める。
来年度の実績	一時預かり、家事代行サービスを民間事業者等に委託し、子育て家庭の支援を行った。また、ホームページ、子育て支援ハンドブックやチラシに掲載し、周知を行った。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	委託業者を増やし、より利用しやすい体制づくりに努める。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	すみずみ子育てサポート事業の多胎育児サポート事業・子どもさんプロジェクト(R4~)を周知し、子育て家庭および妊婦家庭の経済的、精神的負担を軽減を図り、子育てしやすい環境を整備する。
R5方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	長期休暇中の児童クラブ事業
R3年度 事業名	長期休暇中の児童クラブ事業

総合戦略 体系	313	若くて元気まのまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	--------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	保護者の勤務等により、日中、児童だけになる家庭の小学校の児童を対象に、長期休暇中に学童保育を行うことで児童が安心、安全に過ごせる場所を提供し、心身ともに健やかな子どもを育む。					
	概要	長期休暇(夏期、冬期、春期)中、日中児童だけになる家庭の小学生までの児童を対象に、児童が安心、安全に過ごせる場として学童保育を実施する。					
	コロナ対応 の取組	(令和2年度)感染拡大防止対策として、密を避けるため、対象児童を原則として小学校1~3年生に限定した。 (令和3年度)感染防止対策に努め事業を継続した。 (令和4年度)感染防止対策に努め事業を継続する。					
	法令等 根拠	児童福祉法	実施 形態	内容	児童館等において、長期休暇中の学童保育を実施している。		
現在	民間等委託(一部)						

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	実施箇所数		箇所	目標値	12	12	12	13	13
				実績値	12	13	15		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	長期休暇中の学童保育受入率(公設公営・公設民営)		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
	計算 根拠	受入者数/利用申込者数		達成率	100	100	100		
				実数値	602/602	440/440	1181/1181		
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	4,678	4,917	6,845	11,206	8,959		事業タイプ	補助(県)事業
	決算額	4,476	4,917	2,761	11,206			経費区分	扶助費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
	1	3	2	9	203	児童クラブ事業費		142,370	8,959
2									
3									
4									
5以降									
								合計	8,959

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	子ども・子育て支援交付金(国県支出金2/3)	3,120
2	児童クラブ利用料	4,280
3		
4		
5以降		
合計		7,400

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	13
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="事務改善"/>
取組内容	長期休暇中の児童クラブの登録人数が多い地区では、新たに児童センターを開設し、受け入れ人数を増していきたい。
来年度の実績	令和2年度の夏季学童保育から、舟津児童センターを長期休暇中の学童保育会場とし、増加する鯖江地区の学童利用希望者に対応した。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	コロナ禍が続く中、児童センターの設備や職員の健康状態に留意し、人の密を避けるための人数制限や遊びのルールを工夫するなど、感染防止対策を十分にとり実施する。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	定員を超過する児童センターに関しては、新たな児童クラブまたは臨時的なクラブを開設して、適正な人数での保育の実施を目指す。
R5方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	子育てマイスター地域活動推進事業
R3年度 事業名	子育てマイスター地域活動推進事業

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	子育てに関する悩みや不安を抱えている子育て中の保護者が、県が認定登録した子育てマイスターと相談できる場を提供することで、子育て支援の充実を図る。				
	概要	子育てマイスターを活用した相談事業を実施する。				
	コロナ対応 の取組	感染拡大防止を徹底して事業を行う。				
	法令等 根拠 現在	市直営	実施 形態	内容	子育てマイスターを活用した相談事業を実施する。	

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
延べ活動回数		回	目標値	84	84	100	100	100
			実績値	66	62	63		
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
支援率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
計算 根拠	活動回数/実施要請回数	達成率	100	100	100			
		実数値	66/66	62/62	63/63			
		ランク		A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	560	560	560	532	532		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	549	382	310	413			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	9	204	子育てマスター地域活動推進事業費	532	532	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	532

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	子育てマスター地域活動推進事業費補助金(県1/2)	266
2		
3		
4		
5以降		
合計		266

事業要員	正規職員	0.06
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	判定
11	維持または事務改善

ACTION

今年度 R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>	取組内容 7小学校区で子育て支援の一環として、子育てマスターを活用した相談の場を公民館等で提供することで、子育て支援の充実を図る。
来年度の実績	令和3年度 子育てマスターを活用した相談を63回実施し、296名の保護者参加した。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	新たなマスター活動者の確保が難しく、事業拡大、相談支援拡大が不十分、緊急時に柔軟に対応することが困難である。コロナ禍が続く中、相談の場を確保することは困難な状況ではあるが、子育ての不安や悩みを抱える保護者の相談に応じる場を確保して対応することは必要だと考える。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	子育て支援センターにいろいろなかよしのむにて、子育てマスターによる子育て相談会を実施(日時指定)「マスターとお話しよう」と銘打つ。また、マスター登録を促し、マスターの増員を図り、より多くの子育て家庭を支援する。マスター事業と連携した子育て相談専門員の増員を図る。
R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
---------	--

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
---------	--

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	地域子育て支援拠点事業			
R3年度 事業名	子ども家庭総合支援拠点事業			
総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課		開始年度	1998	終了年度	9999
	目的	子育て支援センターで、子育て家庭を対象に、親子の交流促進や子育て講座、育児相談などを設けることで、子育ての孤立感・負担感の解消を図る。また、地域全体での子育てを支援する基盤の形成を図る。					
	概要	子育て支援センターにおいて、(1)親子の交流促進や子育て講座を行う、(2)18歳までの児童とその家庭および妊産婦を対象に、子育てに対する不安や悩み、虐待以外の家庭内の問題に対して、電話や来所面接、訪問支援など継続的な業務を実施する、(3)各子育て支援関係機関と連携をとり、子育て家庭の多様なニーズに対応した支援事業を行う。また、子育て家庭を対象に子育ての悩みや問題について情報交換や学習機会の提供および子育てグループの支援活動の企画、指導や地域の保育資源の情報提供を行う。また、地域子育て支援ネットワークとの連携を強化し地域での支援体制を強化していく。					
	コロナ対応の取組	(R2年度)4.5月電話相談のみ実施、6.7月時間制限人数制限で予約制にて受け入れ(1時間15分ずつ2組)、8月1～6日時間制限人数制限予約制にて受け入れ(午前・午後5組ずつ)、8月6日より閉館(R3年度)コロナ影響なしの場合、祝日・旧盆・年末年始を除く月～土曜日(午前中)開所。 (R3年度)新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して事業を行った。 (R4年度)新型コロナウイルス感染状況を鑑みて対策を徹底したうえで事業を行う。					
法令等 根拠	児童福祉法	実施 形態	内容	子育て支援センターとして遊び場の提供、講座や相談事業を実施する。地域の子育て支援の拠点として、子育て家庭への情報発信、地域でのネットワークを生かし、各地区の子育て支援事業を援助する。			
現在	市直営						

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	なかよし一む開所日数		回	目標値	250	250	250	250	250
				実績値	223	254	239		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	センター利用対象者の1事業当たり利用数		人数	目標値	23	28	28	25	25
				実績値	24.2	18.3	32.9		
	計算 根拠	延利用者数/事業回数		達成率	105.2	65.3	117.5		
				実数値	24850/1025	4659/254	7872/239		
			ランク	A	C	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	15,818	16,689	19,249	19,156	12,369		事業タイプ	補助(国)事業
	決算額	15,093	16,115	18,354	9,321			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	9	201	地域子育て支援センター事業費	32,435	12,369	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	12,369

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	子ども・子育て支援交付金(国庫支出金)	5,982
2		
3		
4		
5以降		
合計		5,982

事業要員	正規職員	2
	会計年度職員	1.5
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	11
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 子育て支援センターにて子育て支援の中核施設として、親子の交流をはじめ子育て講座などの学習機会の提供や市内の子育て情報を子育て支援ハンドブックや携帯端末のアプリを使って情報発信を継続していく。また、各地区の地域で育む子育て支援ネットワーク委員会の事務局、保育所、健康づくり課、COSAPOや療育関係機関などとの連携強化に努め、子育てに優しい街づくりを推進する。

来年度へ向けて R3年度実績 R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題
 (R3年度) 相談ケース対象者のなかよし一む利用者が増加していることにより、専門相談員の対応や、関係機関との連携が必要な事例が多くなっている。
 (R4年度) 提案型市民主役事業として、地域で子育て中の親子の見守りや、サポートを行う人材を育成しようという目的として、「子育てサポーター養成講座」を実施する。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点
 子ども家庭総合支援拠点として、気軽に育児相談等ができる場であることを、広報誌やフェイスブック、ホームページを通して情報発信を行う。また、「アイアイ親子サポートセンター」「子育て支援センター」「子育て支援課」が連携して、子育て講座や相談業務を進め、支援が必要な人を取り残さないスムーズな体制を作る。そのために、専門相談員の拡充を行いたい。

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	不可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	実施	未実施

R4年度事業名	子育てサポーター養成講座	市民主役事業にかかる額(単位千円):	330
R5年度事業名	子育てサポーター養成講座	市民主役事業にかかる額(単位千円):	330

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	児童クラブ事業
R3年度 事業名	児童クラブ事業

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	放課後に昼間保護者がいない児童の健全育成を図る。					
	概要	民間保育園、施設等で放課後児童クラブの実施を委託し、事業費の補助を行う。					
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 4、5月の学校休業期間に対応して、学童保育の時間の延長等を行った。 (R3年度) 感染予防対策に努め事業を継続した。 (R4年度) 感染予防対策に努め事業を継続する。					
法令等 根拠	児童福祉法	実施 形態	内容	民間保育園、施設等において放課後児童クラブの実施を委託し、事業費の補助を行う。			
現在	民間等委託(全部)						

活動指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
児童クラブ実施クラブ数		箇所	目標値	19	20	21	21	21
			実績値	19	21	21		
成果指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
児童クラブ児童受入率(公設民営・民設民営)		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
計算 根拠	受入者数/利用申込者数		達成率	100	100	100		
			実数値	599/599	628/628	627/627		
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	86,941	112,485	125,599	121,249	128,707		事業タイプ	補助(県)事業
	決算額	86,396	112,485	125,599	121,249			経費区分	扶助費

No	款	項	目	事業	R4年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	3	2	9	203	児童クラブ事業費	142,370	128,707	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	128,707

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	子ども・子育て支援交付金(国県支出金2/3)	88,670
2	児童クラブ利用料	14,840
3		
4		
5以降		
合計		103,510

事業要員	正規職員	0.25
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	11
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	引き続き児童クラブの利用を希望する児童が全員利用できるよう運営を行っていく。
来年度へ向けて	R3年度実績 令和3年度の児童クラブ実施については、目標値である21か所実施した。 R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 R4年度は、来館する子ども達の検温、手指の消毒、マスク着用、健康チェックを徹底して行い、また館内消毒や換気等については、定期的実施するなど感染防止対策を徹底し、事業を行う。 実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 定員を超過する学童保育については、新たな児童クラブまたは臨時的なクラブを開設し、適正な人数での保育の実施を目指す。
	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	鯖江市婦人福祉協議会運営補助事業
R3年度 事業名	鯖江市婦人福祉協議会運営補助事業

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	1969	終了年度	9999
	目的	鯖江市婦人福祉協議会の活動を支援し、婦人福祉の向上を図る。				
	概要	鯖江市婦人福祉協議会の運営費の一部を補助する。				
	コロナ対応 の取組	参加者人数の制限やマスクの着用、検温、健康チェックを行い、事業を実施した。				
	法令等 根拠 現在	補助金等交付	実施 形態	内容	鯖江市婦人福祉協議会の運営費の一部を補助する。	

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	※設定困難		目標値					
			実績値					
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	研修会等の実施回数	回	目標値	10	5	8	8	8
			実績値	8	8	7		
	計算 根拠	研修会等開催回数/目標値	達成率	80	160	87.5		
			実数値					
		ランク	B	A	B			
前年度 ランク B、Cの 理由	コロナウイルスの影響により、予定していた研修等が中止となったため。							

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	45	45	45	40	40		事業タイプ	単独事業
	決算額	45	45	45	40	40		経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	2	601	母子福祉団体等補助金	640	40	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	40

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.02
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
9	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者による業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 鯖江市婦人福祉協議会の運営費の一部を補助することで、婦人福祉の向上を図る。

来年度の実績 令和3年度 研修会開催数は目標8回に対して、近隣市町会員との意見交換会等、計7回実施した。

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 婦人福祉協議会の活動を支援するために、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしながら、補助金および活動実施のための補助を行った。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 特になし。

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名

R5年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	地域ファミリーサービス活動費補助金			
R3年度 事業名	地域ファミリーサービス活動費補助金			
総合戦略 体系	142	魅力ある雇用の創出	女性が輝くまちの創造	女性の活躍支援

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	地域における日常的な助け合いと連帯を強めるための活動を推進する。				
	概要	女性の社会参加支援として、会員相互援助により家事代行、老病者付き添い、子守などに取り組んでいる活動運営に対し事業補助を行う。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 感染拡大防止対策を徹底した上で事業を実施した。 (R3年度) 3密を避け、引き続き徹底した感染防止対策を行いながら子育て家庭の生活支援等を行った。 (R4年度) 3密を避け、引き続き徹底した感染防止対策を行いながら子育て家庭の生活支援等を行う。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	補助金申請、実績報告書のみの事務。	
現在	補助金等交付					

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
理事会		回	目標値	5	5	3	3	3
			実績値	4	3	4		
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
支援率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
計算 根拠	支援実績数/支援依頼数		達成率	100	100	100		
			実数値	4536/4536	3816/3816	4010/4010		
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	100	100	100	90	100		事業タイ	単独事業
	決算額	100	100	100	90			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	1	602	児童福祉団体等補助金	100	100	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	100

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	24

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止 維持または事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	女性の社会参加支援として、会員相互援助により家事代行、子育てに関する事業に取り組む活動運営に対し事業補助を行うことで、市のSDGs推進の中軸となる「女性が輝くまちさばえ」の実現に向けた一助とする。
来年度の実績	一時預かりや家事手伝いなどの支援依頼に対して、コロナ禍が続く中、4,010件のサービスを提供した。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	新型コロナウイルス感染予防対策を十分にとり、支援を必要としている人に対してサービスを提供する。女性の社会参加支援として、会員相互援助により家事代行等に取組む活動に対し事業補助を行うことは重要と考える。会員が年々高齢化していることから、新たな会員募集の呼びかけを行い、団体の体力強化を図る必要がある。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	広報誌等で会員募集の呼びかけを行う。
R5方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	子育て短期支援事業
R3年度 事業名	子育て短期支援事業

総合戦略 体系	312	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	-------------	---------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課		開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	保護者の疾病その他の理由により児童を養育することが一時的に困難になったときに、児童福祉施設において一定期間養育することで、児童およびその家庭の福祉の向上を図る。					
	概要	①ショートステイ事業(家庭で児童の養育ができないとき預かる)、②トワイライト事業(夕方から夜に家庭で児童の養育ができないとき預かる)					
	コロナ対応 の取組	感染予防対策を徹底して受入を行う。					
	法令等 根拠 現在	国の次世代育成支援対策交付金事業 民間等委託(全部)	実施 形態	内容 ①ショートステイ事業(家庭で児童の養育ができないとき預かる)、②トワイライト事業(夕方から夜に家庭で児童の養育ができないとき預かる)			

活動指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
受入事業所数	箇所	目標値			2	2	2
		実績値			2		
成果指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
利用希望者に対する受入率	%	目標値			100	100	100
		実績値			100		
計算 根拠	受入日数/受入希望日	達成率			100		
		実数値			115/115		
		ランク			A		
前年度 ランク B、Cの 理由							

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,598	1,100	1,100	1,419	1,200		事業タイプ	補助(国)事業
	決算額	1,597	908	633	1,419			経費区分	扶助費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	9	304	子育て短期支援事業費	1,200	1,200	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,200

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	子ども・子育て支援交付金(国県支出金2/3)	588
2	子育て短期支援事業納付金	413
3		
4		
5以降		
合計		1,001

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	12

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	11
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善
有効性	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒ 善(民間委託の導入)
取組内容 家庭で児童の養育ができないとき児童福祉施設等において一定期間養育し、児童およびその家庭の福祉の向上を図る。
来年度の実績 ①ショートステイ事業 延べ115日②トワイライト事業 0日利用
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 児童の養育が一時的に困難になった時に事業を活用できるよう、施設との連絡調整をスムーズに行い、受け入れていく。3歳未満の子どもの受入が難しい施設状況にあり、里親委託を実施できるよう体制を整える。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 特になし
R5方向性⇒ 維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	地域で育む子育て支援ネットワーク事業			
R3年度 事業名	地域で育む子育て支援ネットワーク事業			
総合戦略 体系	313	若くて元気なまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課		開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	地域の子育て支援関係団体および関係機関が公民館単位ごとに「地区子育て支援ネットワーク委員会」を設置することにより、地域の実情に合わせた地区ぐるみの子育て支援のあり方を協議し、関係団体、関係機関で実施している事業を調整し、子育てしやすい環境づくりのため連携し協力し合い事業を展開する。					
	概要	地区ごとに「地区子育てネットワーク委員会」を設置し、地域における子育て支援ネットワークを構築していくために、子育て支援ネットワークが実施する子育て支援事業に係る費用の一部を委託する。					
	コロナ対応の取組	(R2年度)事業開始 4月→9月(4～8月までコロナ感染防止のため未開催)、補助額 200千円→100千円×10地区、感染拡大防止対策(感染マニュアル)を徹底し事業を実施する。 (R3年度)3密を避け、参加者を地区限定、人数制限、予約制とし、徹底した感染防止対策を行い事業を開催するほか、ホームページや広報紙による情報発信をする。 (R4年度)3密を避け、参加者を地区限定、人数制限、予約制とし、徹底した感染防止対策を行い事業を開催するほか、ホームページや広報紙による情報発信をする。					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	地区子育て支援ネットワーク事業に係る費用の一部を委託する。		
現在	民間等委託(一部)						

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
		地区ネットワーク委員会設置箇所数	地区	目標値	10	10	10	10	10
				実績値	10	10	10		
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
		ネットワーク委員会延開催数	回	目標値	200	100	100	100	100
				実績値	194	117	102		
		計算 根拠	ネットワーク委員会延開催数/目標値	達成率	97	117	102		
				実数値					
				ランク	A	A	A		
		前年度 ランク B、Cの 理由							

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,000	2,000	1,000	1,800	1,800		事業タイ	単独事業
	決算額	2,000	2,000	1,000	1,797			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	9	205	地域で育む子育て支援ネットワーク事業費	1,800	1,800	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,800

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	2.5
	会計年度職員	1.75
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計点数	12
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R4方向性⇒	維持
取組内容	安心して子供を生み育てる地域社会をつくるため、各地区10ヶ所にある地域で育む子育て支援ネットワーク委員会に対し、事業の委託を行う。委託を行うことで、子育てに関するスキルアップを図り、ネットワーク委員や各地区のCOSAPOとの相互連携強化、保健師、保育士を交えた活動を推進する。
来年度の実績	新型コロナウイルス感染拡大により、4~8月まで各地区の支援事業を中止。9月より、地区限定、人数制限をして開催。参加者数808名。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	人数減は、少子化・低年齢からの保育園入所者数の増加も考えられる。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分にとり事業を実施するとともに、ホームページやフェイスブック等による情報発信に努める。コロナ禍が続く中、各地区の特徴ある子育て支援活動を企画し、地区単位でのきめ細かい事業を目指すことが重要。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	ホームページ、フェイスブック、広報紙による情報発信に努める。
R5方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	ハーフバースデイ事業			
R3年度 事業名	ハーフバースデイ事業			
総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課		開始年度	2016	終了年度	9999
	目的	・生後6か月の幼児と母親をハーフバースデイ事業に招待し、同じ月齢の子どもを持つ子育て家庭同士の交流を通し情報交換することで育児不安の解消を図る。					
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で育む子育て支援ネットワーク委員会(各地区の民生委員・子育て推進委員・愛育会等で構成)と協働でハーフバースデイ事業を実施する。 ・ハーフバースデイ事業は、育児に関してベテランの同委員会のメンバーが、各地区の実情に合わせて趣向を凝らした催しをとし、子育てのノウハウを育児世代に伝えていく。 ・親子の観察等を通じて、育児訪問事業へ繋げる。 					
	コロナ対応の取組	(R2年度)4～6月まで新型コロナウイルス感染症防止のため未開催、対象者に絵本および子育て情報を郵送。7月より人数制限をし、児童センターにて支援センター単独で事業を開催。8月は中止、9月より新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を十分にとり、地区ネットワーク委員会と協賛し開催。 (R3年度)コロナ禍の影響により子育て支援が制限されないよう、会場分散や人数制限のほか、職員や乳児の健康観察など感染拡大防止を徹底し安心して事業に参加できる体制をとる。 (R4年度)コロナ禍の影響により子育て支援が制限されないよう、会場分散や人数制限のほか、職員や乳児の健康観察など感染拡大防止を徹底し安心して事業に参加できる体制をとる。					
法令等 根拠		実施 形態	内容	・同じ月齢(生後6か月)の子どもを持つ子育て家庭同士の交流を通し情報交換することで育児不安の解消を図る。			
現在	市直営						

活動指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
ハーフバースデイ参加率		%	目標値	92	92	92	92	92
			実績値	94	95	96		
			達成率	102.1	103.2	104.3		
計算 根拠	参加者数/該当者数		実績値	472/504	374/393	384/401		
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	950	783	757	777	665		事業タイプ	単独事業
	決算額	686	711	650	752			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	9	201	地域子育て支援センター事業費	32,435	665	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	665

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	子ども・子育て支援交付金(国県支出金)	498
2		
3		
4		
5以降		
合計		498

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	0.5
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
12	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者による業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 生後6ヶ月の赤ちゃんとその保護者に対して、鯖江市内10地区で実施している子育て支援ネットワーク委員会主催のハーフバースデー事業への参加を促し、同じ月齢の子どもを持つ子育て家庭同士の交流・情報交換することで育児不安の解消を図る。

来年度の実績 R3年度 参加率95%。ハーフバースデー事業を実施するなかで気がかりな児童、家庭に対し、育児支援を行った。

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 約5%の家庭が未確認。全数フォローできない状況が続いている。関係機関と情報を共有し育児訪問事業で全数フォローするよう努める。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 各地区委員会とも情報を共有し、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、各地区での事業参加の声掛けをして子育て状況を確認し地域での支援を深める。

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	養育支援訪問事業			
R3年度 事業名	育児訪問事業			
総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課		開始年度	2016	終了年度	9999
	目的	家庭訪問による養育に関する指導を行うことにより、若年の妊婦、育児不安、支援者希薄などの気がかり家庭や児童虐待予防を目的とする。					
	概要	・毎月家庭訪問し、育児状況を確認しながら相談援助を行う。					
	コロナ対応 の取組	感染拡大防止対策をとり養育支援訪問事業を開催する。					
	法令等 根拠 現在	国の次世代育成支援交付金対象事業 補助金等交付	実施 形態	内容	子ども・子育て支援交付金の助成により、養育支援訪問を行い、家庭訪問による相談援助を行う。		

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	養育支援訪問件数		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
	計算 根拠	養育支援訪問件数/養育支援訪問必要件数		達成率	100	100	100		
				実数値	129/129	90/90	106/106		
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,627	2,764	2,916	2,249	1,199		事業タイプ	補助(国)事業
	決算額	2,597	1,668	607	332			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	9	201	地域子育て支援センター事業費	32,435	1,199	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,199

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	子ども・子育て支援交付金(国県支出金)	799
2		
3		
4		
5以降		
合計		799

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	0.5
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	13
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>	取組内容 子育てに対する不安感負担感の解消を図り、児童虐待の早期発見予防する。健康づくり課、子育て支援センターとの連携を密にしていきたい。
来年度へ向けて	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 今後も新型コロナウイルス感染拡大防止対策を図りながら、あらゆる関係機関との連携を深めながら相談支援を行う。
	実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 これまで以上に健康づくり課との連携を密にとり、対象家庭に適した訪問担当者について協議し育児訪問事業を実施する。フォロー対象の家庭に対しては情報を共有しながら最善な支援策を進める。
R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	ひとり親家庭等児童学習支援事業			
R3年度 事業名	ひとり親家庭等児童学習支援事業			
総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課		開始年度	2018	終了年度	9999
	目的	ひとり親家庭および生活困窮世帯の児童は、精神面や経済面で不安定な状況におかれることにより、学習の意欲が低下したり、十分な教育が受けられず、児童の将来に不利益な影響を与えかねない。このため、学習ボランティアによる学習の支援や、気軽に進学相談等を受けられる場所（児童の居場所づくり）等を整えることにより、児童の健全育成と自立を促進する。					
	概要	民間団体に委託し、定期的に学習会を開催する。また、学習会終了後に子ども食堂やレクリエーション活動等を行い、児童の居場所を提供する。					
	コロナ対応 の取組	(R2年度) R2.4月会場使用ができなかったため休止した。R2.5月から遠隔学習での事業を開始した。R2年度は、集合型学習と遠隔学習を併用。 (R3年度) 3密を避け、徹底した感染防止対策をとり、集合型学習を行う。遠隔学習は新型コロナウイルス感染拡大の状況により必要に応じて実施する。 (R4年度) 3密を避け、徹底した感染防止対策をとり、集合型学習を行う。遠隔学習は新型コロナウイルス感染拡大の状況により必要に応じて実施する。					
	法令等 根拠 現在	鯖江市ひとり親世帯等学習支援事業実施要綱	実施 形態	内容	鯖江市母子寡婦福祉連合会と共同で学習会、子ども食堂やレクリエーション活動ができる団体に委託する。		

DO (実施)	活動指標									
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	
	※設定困難			目標値						
				実績値						
	成果指標									
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	
	開催数		回	目標値	120	160	220	290	290	
				実績値	125	364	225			
	計算 根拠		2020～集合型学習、遠隔学習の合計を算出							
				達成率	104	227.5	102.2			
			実数値							
			ランク	A	A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由										

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	3,900	3,900	5,300	5,400	5,900		事業タイプ	補助(県)事業
	決算額	3,732	3,780	4,459	3,685			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	2	201	母子福祉等事務諸経費	10,829	5,900	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	5,900

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	母子家庭等対策総合支援事業補助金	4,425
2		
3		
4		
5以降		
合計		4,425

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計 点数	12
点数区分	0点~8点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R4方向性⇒	内容拡大
取組 内容	毎年、登録児童数が約30名おり、参加する保護者とも継続利用を望む声が多い。会場を4ヵ所(各中学校区に1か所および令和4年から立待公民館を会場に増設)にて、学習会を開催する。
来年度 の実績	鯖江市内3会場で、年間119回集合型学習会を開催し、延べ479人、遠隔学習では106回、延127人の児童が参加した。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	新型コロナの影響で、会場使用が不可となり、集合型学習会の開催ができなくなったが、ITを活用した遠隔学習を開催することで、学習の場を提供することができたので本年度も実施する。学習支援を受けたことがある高校生について、受け入れ体制を整えた。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	新型コロナウイルス感染拡大の状況を見ながら、引き続きITを活用した遠隔学習の活用を検討する。
R5方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度 事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
-------------	-------------------	---

R5年度 事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
-------------	-------------------	---

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	子育て支援センター一時預かり事業
R3年度 事業名	子育て支援センター一時預かり事業

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課		開始年度	2018	終了年度	9999
	目的	保育所などを利用していない家庭においても、日常生活上の突発的な事情や社会参加などにより、一時的に家庭での保育が困難となる場合がある。現在、鯖江市においては保育所等で一時預かり事業を行っているが、希望者が多く、子育て家庭のニーズにこたえられない場合があるので、子育て支援センターで一時預かりを実施する。					
	概要	子育て支援センターの移転に伴い、一時預かり室を設置。一時預かり担当をCOSAPOに依頼し、一時預かり室やなかよし一むにて託児を行う。平日の9:00～12:00、13:00～16:00にそれぞれ定員3名で実施。					
	コロナ対応 の取組	感染予防を徹底して事業を継続する。					
	法令等 根拠 現在	国の次世代育成支援対策交付金事業 市直営	実施 形態	内容	COSAPOに協力を依頼し、一時預かり事業を実施する。		

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
制度の周知活動		回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12		
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
利用者数		人	目標値	200	200	250	400	400
			実績値	322	406	586		
計算 根拠			達成率	161	203	234.4		
			実数値					
		ランク		A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,140	750	1,002	1,260	1,395		事業タイ	補助(国)事業
	決算額	382	678	495	1,169			経費区分	人件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	9	207	子育て支援センター一時預かり事業費	1,395	1,395
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	1,395

補助金等	No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
	1	子ども・子育て支援交付金(国県支出金2/3)	500
	2	子育て支援センター一時的保育事業納付金	103
	3		
	4		
	5以降		
		合計	603

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	10
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	一時預かりの利用者数の増加に伴い、月20人を超える申し込みがあるため、今後も毎日一時預かりを実施し、子育て家庭の育児負担感の軽減を図っていく。
来年度の実績	R3年度 一時預かり利用者数586名・コロナワクチン接種のため一時預かりを利用する場合無料とし、受け入れを行う。(586名中22名)
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	R3年度は、預かりを希望する家庭すべての受け入れを行っている。R4年度はハーフバースデー事業の際に子育て「ほっと一息」応援事業で一時預かり無料券を配布し、子育て負担の軽減と、事業の周知を図る。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	「子育て支援センターに在籍」へ移転し体制を整えた。 一時預かり利用者数の増加により、一時預かりの受け入れを午前・午後それぞれ最大3名に増加し更なるCOSAPOの協力和職員の役割分担の中で工夫し対応する。
R5方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	ひとり親家庭の子育て安心プラン事業			
R3年度 事業名	ひとり親家庭の子育て安心プラン事業			
総合戦略 体系	312	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課		開始年度	2019	終了年度	9999
	目的	ひとり親家庭の経済的負担を軽減するために、高等学校等に在学している児童の通学のための公共交通機関の定期券購入費用を助成する。					
	概要	市外の高等学校等に通学している児童の公共交通機関の定期券購入費用。ただし、児童1人につき、1ヵ月当たりの上限は1万円とし、助成期間の上限は36ヶ月間とする。					
	コロナ対応 の取組	特になし					
	法令等 根拠 現在	鯖江市ひとり親家庭高校生の通学定期代助成 事業実施要綱 市直営	実施 形態	内容	ひとり親家庭の保護者から申請書等を提出してもらい支給する。		

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
制度の周知活動			目標値			2	2	2
			実績値			2		
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
助成件数		件数	目標値			100	110	110
			実績値			100		
計算 根拠			達成率			100		
			実数値			107/107		
			ランク			A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額		4,200	2,500	3,122	3,400		事業タイ	補助(県)事業
	決算額			2,439	3,122			経費区分	扶助費

No	款	項	目	事業	R4年度事業名		
					予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	2	307	ひとり親家庭の子育て安心プラン事業		
2							
3							
4							
5以降							
						合計	3,400

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	ひとり親家庭の子育て安心プラン事業費補助金	1,700
2		
3		
4		
5以降		
合計		1,700

事業要員	正規職員	0.02
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	10
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ 維持
取組内容	市内の高等学校等に通学している児童の公共交通機関の定期券購入費用の1/2を助成した。(ただし、児童1人につき、1ヶ月あたり上限10,000円)
来年度へ向けて	R3年度の実績 市内の高等学校等に通学している児童の公共交通機関の定期券購入費用について、適正に審査および助成金の支給を行った。令和3年度 助成107件
	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 申請数が増加傾向にあることを踏まえ、利便性を図るためデジタル技術を取り入れるなど、業務プロセスの改善について検討したい。
	実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 電子申請化の検討を行う。また併せて審査、支払い事務の効率化の検討も行う。
	R5方向性⇒ 事務改善(業務プロセスの改善)
	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	家庭育児応援手当事業
R3年度 事業名	家庭育児応援手当事業

総合戦略 体系	312	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	-------------	---------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	2020	終了年度	9999
	目的	保育所等を利用せず、自宅で第2子以降の0歳児から2歳児を育てている世帯に対し、給付金を支給し、経済的負担軽減を図る。				
	概要	保育所等を利用せず、自宅で第2子以降の0歳児から2歳児を育てている世帯に対し、その第2子以降の児童1人につき月1万円を支給する。				
	コロナ対応 の取組	コロナ禍において、需要が増えると考え、令和3年度は広報を5回行った。				
	法令等 根拠	鯖江市家庭育児応援手当金支給要綱	実施 形態	内容		
現在	市直営					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
制度の周知活動			目標値			5	3	3
			実績値			5		
成果指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
支給率			目標値			100	100	100
			実績値			100		
計算 根拠	支給決定数/支給要件適合者申請数×100		達成率			100		
			実数値			15/15		
			ランク			A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額			4,260	3,627	8,760		事業タイ	補助(県)事業
	決算額			150	860			経費区分	扶助費

No	款	項	目	事業	R4年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	3	2	1	302	家庭育児応援手当支給事業費	9,147	8,760	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	8,760

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	ふくい在宅育児応援手当支給事業費補助金	4,380
2		
3		
4		
5以降		
合計		4,380

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
9	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 保育所等を利用せず、自宅で第2子以降の0歳児から2歳児を育てている世帯に対し、給付金を支給する。

来年度の実績 令和3年度 助成件数15件

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題
申請が少ないため、引き続き、広報等による周知を行う。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点
広報さばえの掲載や支援センターへチラシを配布して、引き続き、周知を行う。また、本事業は県の事業でもあるので、支給対象条件の緩和を提案している。

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	子育てサポーター養成講座事業
R3年度 事業名	ふぐいのグランパ・グランマ養成支援事業

総合戦略 体系	313	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	-------------	---------------------	----------

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課	開始年度	2021	終了年度	9999
	目的	地域の中で子育てのサポートを受けられる環境づくりのために、子育て支援を行うことができるボランティア(子育てサポーター)を養成する講習会を開催し、地域の子どもは地域の中で育てていくという機運を醸成する。				
	概要	子育て支援センター事業 子育てサポーター養成講座 【内容】仕事や子育てを終えた高齢者やシニア世代を対象に子育てに関する講習会を開催し、受講修了者は子育てマイスターやCOSAPOとして登録し、地域の子育て支援活動先へつなぐ。 【対象】高齢者、シニア世代等 【場所】子育て支援センター				
	コロナ対応 の取組	感染拡大防止のため、マスクの着用、検温、健康チェックを行い事業を実施する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	子育てサポーター養成講座を子育てサポーターの会「COSAPO」に委託して実施する	
現在	民間等委託(全部)					

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
周知回数			目標値			2	2	2
			実績値			2		
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
養成講座開催数			目標値			5	10	10
			実績値			10		
			達成率			200		
計算 根拠			実績値					
			ランク			A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額				330	330		事業タイプ	補助(県)事業
	決算額				330			経費区分	補助費等

No	款	項	目	事業	R4年度事業名		予算書額	うち事業額(千円)
1	3	2	9	201	地域子育て支援センター事業費		32,435	330
2								
3								
4								
5以降								
							合計	330

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	0
	※所要時間	

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
12	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 子育てサポーター養成講座を子育てサポーターの会COSAPOに委託し、前期・後期、実習を除き5講座ずつ開催する。

来年度の実績 コロナ禍の中、感染防止対策を講じながら前期・後期、実習を除き5講座ずつ開催。

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題
情報発信として、広報紙・新聞での記事掲載を行い受講生を募集した。また、令和4年度は提案型市民主役事業により実施。実行委員を若手の委員に依頼した結果、地域の子育て支援の人材育成とともに、若いパパママへの講座としても広く情報発信を行いつつある。子育て世代同士のピアカウンセリングの中心人物としての人材育成の講座としても今後講座内容も検討していく。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点
特になし

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択			不可能	可能	可能
実施状況			未実施	実施	実施

R4年度事業名	子育てサポーター養成講座	
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	330
R5年度事業名	子育てサポーター養成講座	
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	330

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	子育て家庭総合支援拠点事業			
R3年度 事業名	幼児発達支援事業			
総合戦略 体系	312	若くて元気のまちの創造	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減

PLAN (計画)	部署名	子育て支援課		開始年度	2021	終了年度	9999
	目的	子ども家庭総合支援拠点の設置により、18歳までの児童とその家庭および妊産婦を対象に、子育てに対する不安や悩み、虐待等の電話・来所・家庭訪問等により相談支援を行う。 発達上気がかりな児童に対して、個々の発達に応じた支援を実施するとともに、保護者に対して、少しでも早い時期から子どもの発達特性に応じた適切な環境や接し方の工夫を助言し、支援する。					
	概要	専門的な知識を有する職員が、18歳までの児童とその家庭および妊産婦を対象に、育児やしつけ、子育てに対する不安や悩みだけでなく、虐待以外の家庭内の問題に対し、電話や来所面接、訪問支援を中心とした継続的な業務を実施する。また、幼児発達支援事業においては、ことばの遅れ、落ち着きがないなど発達上気がかりな児童に対して個々の発達に応じた支援を実施するとともに、保護者に対しては少しでも早い時期から子どもの発達特性に気づかせ、一人一人に応じた、適切な環境と接し方の工夫を助言し、支援を実施する。					
	コロナ対応 の取組	感染拡大防止のため、マスクの着用、検温、健康チェックを行い事業を実施する。					
	法令等 根拠	児童福祉法	実施 形態	内容	保健師等の専門スタッフが発達に関する相談に応じる。		
現在	市直営						

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	拠点数		箇所	目標値			1	1	1
				実績値			1		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	のびのび教室開催数		回	目標値			12	36	36
				実績値			14		
	計算 根拠			達成率			116.7		
				実数値					
	相談活動日数		日	目標値			250	250	250
				実績値			254		
	計算 根拠			達成率			101.6		
				実数値					
			ランク				A		
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額				3,577	9,429		事業タイプ	補助(国)事業
	決算額				1,268			経費区分	補助費等

No	款	項	目	事業	R4年度事業名		予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	9	201	1				9,429	
2									
3									
4									
5以降									
								合計	9,429

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	児童虐待・DV対策等総合支援事業補助金	4,714
2		
3		
4		
5以降		
合計		4,714

事業要員	正規職員	0.3
	会計年度職員	0.3
	※所要時間	

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) はい いいえ

行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) はい いいえ

住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) 増加する見込み 横ばい 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) ない ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) ない ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
9	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) 節減できている 横ばい 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) 向上している 横ばい 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) 向上している 横ばい 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) いる いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) いる いない

成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) 目標を達成できている 進展している 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 子ども家庭総合支援拠点で18歳までの児童とその家庭および妊産婦を対象に、子育てに対する不安や悩み、虐待以外の家庭内の問題に対して、電話や来所面接、訪問支援等継続的な業務を実施する。また、幼児発達支援事業については、ことばの遅れ落ち着きがない等、発達に気がかりな児童に対して個々の発達に応じた支援を行う。保護者に対しても少しでも早い段階から子どもの発達の特性について気づき、接し方の工夫やその他サービスへの繋ぎなど相談に応じる。

来年度の実績 R3年度 子育て支援センターでの総合相談における電話相談は58件、来所相談が24件、出張相談99件、支援事業での相談が87件と多くの相談があり、丁寧な対応を行った。

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 今後も今まで通りあらゆる関係機関との連携を深めながら相談体制をとっていきたい。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 特になし

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒